



Title	HPVワクチン（子宮頸がんワクチン）のキャッチアップ接種率向上のためのナッジメッセージに関する研究
Author(s)	山口，夏七葉；石川，絢菜；菊地，友利奈
Citation	大阪大学経済学. 2024, 73(4), p. 54-54
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/94750
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

【2023年度 学生懸賞論文受賞作 特別賞要旨】

HPV ワクチン(子宮頸がんワクチン)のキャッチアップ接種率向上のための
ナッジメッセージに関する研究

山口夏七葉 石川絢菜 菊地友利奈

子宮頸がんは、子宮頸部にできるがんであり、日本では年間約 10000 人が罹患し、約 2800 人が死亡する病気である。ほとんどの子宮頸がんは HPV ウイルス（ヒトパピローマウイルス）へ感染することが原因で発症する。HPV ワクチンは、接種により HPV ウイルスへの感染を防ぎ、子宮頸がんの罹患を予防することができる。本研究は、2022 年 4 月から 2025 年 3 月までの 3 年間行われている、1997 年 4 月 2 日から 2007 年 4 月 1 日生まれ的女性を対象とした HPV ワクチンキャッチアップ接種の接種率向上を目的としている。本研究では特に、「HPV ワクチン未接種で、接種意思のない女性が、接

種をしたいと思うまで」に着目し、HPV ワクチンの接種意思が向上するナッジメッセージを提案する。具体的には、ワクチン費用に関する情報と、ワクチンの効果に関する情報の 2 種類の情報を用いて、それぞれの情報で損失を強調したメッセージと、利得を強調したメッセージを作成し、オンラインアンケートを用いたランダム化比較試験（RCT）によってメッセージの有効性を検証した。その結果、ワクチンの効果に関する情報を用いて損失を強調したメッセージと、ワクチンの効果に関する情報を用いて利得を強調したメッセージが、ワクチンの接種意思を約 30%ポイント向上させた。